

PROGRAM NOTE

日本ふれあいの旅

<HCJBリスナーをたずねて・2012年>

「日本ふれあいの旅2012年」は、西部劇のロケ地、巨大サボテンに囲まれたツーサン空港からスタート。8月17日午前9時、アメリカン航空の国内便で米西海岸のロサンゼルスまで飛び、国際線に乗り換えて12時間。全日空の新型機777-300で太平洋をひと飛びして成田上空に姿をみせたのは翌日の日本時間午後4時過ぎ。これは飛行時間30分短縮の快挙でした。

日本滞在第一夜はぐっすり眠れたせいか、時差ぼけフリーで最初の奉仕教会の我孫子福音キリスト教会（茨城県）へ向かうことができました。最寄りの駅に降り立つと、なんと近くに住んでおられるリスナーの岩沙一彦さんとばったり。迎えにきた教会員の車に同乗していっしょに教会へ。礼拝がはじまり、私が説教台にあがるときに司会者の松川良樹さんが「私もアンデスの声をきいていました。」と小声でささやいてくれました。次の日曜日、横浜の白山道教会の礼拝でも同じように司会の向井行浩さんに「アンデスの声はよく知っていますよ」といわれ、これから二ヶ月間のHCJBリスナーとのふれあいの旅への期待感がますますふくらむ思いでした。

8月恒例のハムフェアは、昨年を上回る3300人の入場者があり大変なぎわいでした。日本短波クラブも創立60周年ということで、記念パーティが開催され、全国からかけつけた多くの友人同志で旧交をあたためることができました。静岡からかけつけた77歳の小野孝さんは、50年前のHCJBのベリカードを大事にもっておられたのでイ

ンタビューさせてもらいました。入れ替わり立ち替わりリスナーと会っている間に、敏腕記者らしくカメラを何台も首から下げた電波新聞社の大橋さんもいつもの笑顔で立ち寄っていきました。

今年のHCJBリスナーの集いは全国三カ所で開かれました。9月に東北の山形市と関東の東京淀橋教会で、そして、離日前の10月が名古屋市でした。全国に散在するリスナーの皆様と出来るだけお会いしたいと思いつつも、なかなか個別にお伺いする機会もなく残念でしたが、その点、遠くから時間をかけて来られた方々にはとくにお礼を申し上げたいと思います。このように各地でリスナー同志が犠牲を払って集ってくださることで、「放送」を媒体にした「人」と「人」の交流が深まり、「趣味の王様BCL」の仲間としての横のつながりが広がっていきます。そこに構成される最新情報のネットワークや、相互の助け合いの場は、何か役立つ新しいものをきっと生み出すものと信じています。

思いがけない出会いもありました。東京渋谷の東横線の終点で人波に押されているとき携帯電話が鳴りました。「もしもし。ラファエルです。ご無沙汰しています。」「えっ！一体どこから？」「今、東京にいます。」「そうなの。会いたいな。リスナーの集いにも来れるかな？」「はい。いいですよ。」「ラファエル君のいつもの明快な返事がひさしぶりに返ってきました。エクアドルで7年間、高校・大学生時代にHCJB日本語部で番組制作から手紙の処理まで手伝ってくれたラファエル君。今は日本の総合商社のニューヨーク支店の正社員です。当

日本ふれあいの旅 スナップ集



HCJB日本語放送

新住所：HCJB（日本語放送）5701 N INDIAN TRAIL TUCSON AZ 85750 USA

日、東京淀橋教会にあらわれたラファエル君は見るからにたくましい社会人。会場では初対面の挨拶とともに「アンデスの声」時代の様子や仕事ぶりを思い出しながら話してくれリスナーも大喜びでした。数日後、ラファエル君から次のようなメールがとどきました。

「ひさしぶりに教会を訪れ、先生はじめ皆様にお会いできて本当にうれしかったです。リスナーの皆様も面白い方ばかりで、あらためてラジオのPowerを感じました。仕事にも、個人的にも、ここ数年、僕も中々落ち着かない状況ですが、その中で先生のお話はとても励みになりました。機会があれば淀橋教会もまたお邪魔したいと思います。今、置かれてる状況を受け入れ、挫折にも負けず、特に道に迷いそうなときでも神を見上げ明日を信じなければならぬことに気づき目の覚めるおもいでした。最近、何かと苦勞が絶えない日がつづいていますが、僕も前向きに頑張ります。」

那須高原教会では、「アンデスの声」制作のドラマで活躍してくれていた内田作ちゃんと再会しました。幼かった日曜学校時代が頭に浮かぶので母親になった作ちゃんがあまりピンときませんでした。それでも、説教中に泣きじゃくる赤ん坊を外に連れ出して木陰であやしている母親の姿を見たときには、さすがにほほえましく、たのもしく感じられました。

「アンデスの声」初代日本人秘書の田邊慶子さんも初孫誕生です。そのニュースは電話できいただけでしたが、慶子さんはいつもと変わらぬ明るい声で「私もおばあちゃんになるんです・・・」とうれしそうでした。そういえば、姪の裕己ちゃんもお母様になりました。同じ日曜学校の生徒だった弟の裕一郎君には高校生の時にベリカード（1999年35周年記念）をデザインしてもらったことがあります。ミネソタ大学で美術を専攻して現在はコンピューター・グラフィックスの分野で才能をあらわして活躍中です。このように、エクアドルでバナナの有機栽培に精出している田邊農園の家族をはじめ、アンデスで育った子供たちが、みんなそれぞれに与えられた人生でりっぱな実を結びつつあることは素晴らしいことです。

日本語放送担当

尾崎一夫



『サタデー・トーク』		『パイブル・トーク』	
きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
11月 3日	Japan Trip 2012 / 小野孝 (77歳) さん	11月 4日	聖書遊覧バス
11月10日	HCJBリスナーの集いin 山形 (1)	11月11日	聖書遊覧バス
11月17日	HCJBリスナーの集いin 山形 (2)	11月18日	リスナーからの「お便り交換」の時間 淀橋教会収録
11月24日	関東地区HCJBリスナーの集い (1)	11月25日	聖書遊覧バス

放送後の番組は、ホームページ (<http://japanese.hcjb.org>) のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間午前7時半～8時 放送周波数： 15525kHz 19mb
(米国アリゾナ制作/オーストラリア送信)

HCJB日本語放送

新住所：HCJB (日本語放送) 5701 N INDIAN TRAIL TUCSON AZ 85750 USA